

「第2期荒尾市教育振興基本計画(素案)」に関する
意見募集の結果及び市の考え方について

1 募集期間

令和4年1月14日(金)から令和4年2月14日(月)まで

2 意見の件数(意見提出者数)

33件(3人)

3 意見の取扱い

反 映: 寄せられたご意見の趣旨を踏まえ、内容に反映(一部反映含む)するもの	10件
参 考: 今後の取組の参考とさせていただくもの	15件
その他: 素案以外についてのご意見や上記以外の取扱いを行ったもの	8件

4 ご意見の概要と市の考え方

※ご意見等については、適宜要約させていただいております。

No.	ご意見・ご提案の概要	市の考え方	取扱い
1	<p>【ESD(持続可能な開発のための教育)について】</p> <p>ESD に関しては取り組む姿勢はあるか。</p>	<p>ESD は SDGs の目標 4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」のターゲット 4.7 に位置付けられていることから、SDGs の目標達成のため、重要な取組であると認識しております。</p> <p>本市における取組として、学校においては、環境学習の一環とした荒尾干潟を活用した学習、水俣に学ぶ肥後っ子教室、世界遺産学習の一環とした万田坑見学、万田坑ガイド、環境に優しい学校づくりの一環である学校版環境 ISO の取組(グリーンカーテン)などを推進しています。</p> <p>さらに市内の中高生を対象にSDGsへの理解の促進と担い手の育成を目的として、ワークショップ等の取組を進めています。</p> <p>いただきましたご意見を踏まえ、P72 に ESD について追記を行いました。</p>	反映
2	<p>【計画期間について】</p> <p>国・県の計画とタイムラグが大きいのが気になる。教育分野は国・県の方針に影響を受けるところが多いように思う。今回の計画を 3 か年の集中戦略のようにされ、調整されてはいいかがか。</p>	<p>本計画は、令和4年度から令和8年度の5年間で計画期間としておりますが、国、県の動向を捉えながら、必要に応じて適宜計画の見直しを図ります。</p> <p>ご意見を受け、P2「計画の期間」に、必要に応じて適宜見直しを行いながら推進していく旨を追記いたします。</p>	反映 (一部)

3	<p>【他計画との位置づけ】</p> <p>関連計画の中でも、特に「子ども子育て支援計画」や「荒尾市スポーツ推進基本計画」とは一体的に推進すべきもののように思います。</p> <p>一体感が可視化できるような図にされてはいかがか。</p>	<p>ご意見を踏まえ P3 の図を修正させていただきます。</p>	<p>反映</p>
4	<p>【全国的な社会動向】</p> <p>社会体育移行の話題があるが、本市独自の取組もある。第1期計画の検証の中で整理されてはいかがか。</p>	<p>ご意見を踏まえ(P5 から P10 へ)掲載箇所の修正を行います。</p>	<p>反映 (一部)</p>
5	<p>【子供を取り巻く環境の変化】</p> <p>地域性がある内容も多く感じ、根拠となるデータもあった方がよいかと思う。</p> <p>アンケート結果と重複する内容もあることから、思い切って丸ごと削除してはどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「課題のまとめ」として整理します。</p>	<p>反映 (一部)</p>
6	<p>【教育政策の動向】</p> <p>「国の動向」「県の動向」をそれぞれまとめられてはいかがか。</p> <p>特に「県の動向」について、より詳しく記載してよいのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、P9「県の動向」については、部活動の社会教育への移行など、県全体の取り組みについて加筆し、より詳しい内容に修正を行います。</p>	<p>反映 (一部)</p>
7	<p>【荒尾市の教育に関する現状】</p> <p>学力についてのデータが記載されていないが、関心も高い事項であり、詳細なデータの分析が必要ではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、全国学力学習状況調査の結果について記載を行います。</p>	<p>反映</p>
8	<p>【アンケート結果】</p> <p>詳しく出しているのはよいと思いますが、逆に課題が何かが分かりにくくなっていると思う。</p> <p>「課題のまとめ」という項があると分かりやすい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、修正を行います。他のご意見であった「子供を取り巻く環境の変化」をアンケート結果と組み合わせつつ、「アンケート調査結果から見る教育的ニーズや課題」のまとめとして移動・編集します</p>	<p>反映 (一部)</p>
9	<p>【第1期計画の検証】</p> <p>もっと端的にまとめられてはいかがかと思いました。</p> <p>単純に文量が多くて分かりにくいですし、内容に縦割り感を感じる。</p> <p>当該基本目標の目的は何だったのかを踏まえ、目標に対してどうだったのかを簡潔にまとめられると分かりやすくなるのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、整理を行い文章量等の修正を行います。</p>	<p>反映 (一部)</p>

10	<p>【施策の展開】</p> <p>ボリュームがとて多という印象を受ける。文量が多いと、単純に読んでもらいにくくなりますし、何に力を入れたいのかが分かりにくくなる。当然推進するものは外し、関連計画に任せるとは外すなど、今一度整理してはどうか。</p>	<p>市における教育振興のための施策全般を網羅する観点から、範囲が広く、ボリュームの多い計画となっています。</p> <p>本体計画書の概要をまとめた、概要版を策定するなど、わかりやすく伝えられるものを作成し、対応してまいります。</p>	反映 (一部)
11	<p>【食育の推進について】</p> <p>あちこちで SDGs が出てくるが、これらに関して食育の具体的展開がなされていない。今や日本の自給率は 38%と言われている。食余りや食品ロスが声高に問題視されている。また、31 ページに「早寝早起き朝ごはん」とあるが「朝ごはん」の中身には調査が及んでいないようである。</p> <p>食料自給率が低いことや和食文化の継承について、第 3 次食育推進基本計画に「食文化の継承に向けた食育の推進」に示されているような 具体的施策として取り上げられていないのは、なぜか。</p>	<p>本計画における食育への施策につきましては、P53-(8)食育の推進に、主に幼児期～義務教育期を対象とした本市の施策を記載しています。</p> <p>また、食育基本法に基づく市全体の食育推進につきましては、「荒尾市健康増進計画(第二次)」(食育推進計画、母子保健計画を包含)の下、食育の推進に取り組んでおります。</p> <p>いただいたご意見は取組を進めるうえで、参考にさせていただき「荒尾市健康増進計画(第二次)」と連携し、計画の推進に努めて参ります。</p>	参考
12	<p>【食育、環境学習の推進について】</p> <p>熊本では植物肉をつくる企業がある。牛肉ではなく代用肉を使うことで、牛のゲップからでるメタンガスの削減になる。大豆は 94%輸入品だが、食育(地球温暖化防止 SDGs13)の一環として教えるべきである。温暖化防止に関連して、身近なZEBやZEHに関する教育もこの計画では出てこない。</p> <p>具体的施策として取り上げられていないのは、なぜか。</p>	<p>本計画における食育、環境教育への施策は、P53-(8)食育の推進、P73-(2)環境教育の推進に記載し、取り組むこととしております。</p> <p>また、本市では、「荒尾市地球温暖化対策実行計画(第 5 期実行計画)」のもと温室効果ガス削減のための取り組みを進めております。令和 3 年 3 月にゼロカーボンシティ宣言を行い、市全体で二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化対策を推進するための取組を加速化しているところです。</p> <p>また、ご指摘ありました ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)に関する取組については、現在策定中の荒尾市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に施策等を記載する予定です。</p> <p>いただいたご意見は取組を進めるうえで、参考にさせていただき「荒尾市地球温暖化対策実行計画」とも連携し、計画の推進に努めて参ります。</p>	参考
13	<p>【食育・環境教育・郷土の文化芸能等について】</p> <p>市民アンケート問 23 については、回答数の多い重点項目は、日常教育の場で行われてい</p>	<p>SDGs は、市の最上位計画「第6次荒尾市総合計画」において、持続可能な地域社会をつくるため、「誰一人取り残さない」という SDGs の理念を踏まえ、市全体の政策</p>	参考

	<p>ることについて、もっと高みを目指してほしいと 言うことに他ならない。回答数の少ない、食育、 読書、郷土の文化・芸能活動、環境教育等は、 教育の現場において余り取り上げられないこと や教えていないことを示している。特に現在注 目されている、SDGs の食育や環境問題を重点 的に、かつ積極的に教育の場にあげる必要が ある。郷土愛を展開するための郷土の文化・芸 能活動に関する教育も同様である。</p>	<p>に取り組むことと定めており、教育政策においても同様と 考えております。ご指摘いただきました食育や環境問題 対策に関する部分につきましては、「荒尾市健康増進計 画(第二次)」、「荒尾市地球温暖化対策実行計画」と連 携し、計画の推進に努めて参ります。</p> <p>また、郷土の文化・芸能活動に関する教育に関しまし ては、本計画基本方針3の「3. ふるさとの自然、伝統、文 化に関する学習機会の充実」にある通り、荒尾の宝であ る地域資源を活用し、郷土学習の推進を図ってまいりま す。</p> <p>いただきましたご意見については、これらの取組を進め ていくうえで参考とさせていただきます。</p>	
14	<p>【e スポーツについて】</p> <p>老若男女が楽しめるeスポーツが各所で展開さ れ、高い評価を得ている。また、将来的にはオ リンピックも取り入れられる可能性もある。荒尾 市では取り組まないのか。</p>	<p>e スポーツについては、先進的な自治体の取組事例と して、地域における高齢者の認知症予防や世代間交流 の推進、また小学生のプログラミング教育との連携など の事例が国から発表されているところです。</p> <p>いただきましたご意見は今後の参考とさせていただきます、 e スポーツ振興による学習や教育的な効果等について取 組事例等の情報収集に努めてまいりたいと考えます。</p>	参考
15	<p>【教育 DX について】</p> <p>DXとは教職員等の意識改革から始めなけれ ばならない。最適化された学びの場を提供でき る体制になってこそDXと考える。教職員からの 視線ではなく、子ども達の視線で考えることも必 要。24ページのICTの活用欄に市民、教職員の アンケートはあるが、子ども視線のニーズは 把握していない。教職員が子どものニーズを調 べることが先ではないか。実施方針等について 回答をお願いしたい。</p>	<p>教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)の加速化 を進めるにあたり、本市としても、推進主体となる教職員の 意識醸成が重要であるとの認識の下、P79 記載の教 職員の働き方改革の推進と併せた取組を推進する方針 としております。</p> <p>また、SDGs の視点からも、子供はもちろんのこと、保 護者、教職員、地域など学校を取り巻く全て関係者の視 線を大事にしながら、ICT 利活用の推進を進め、教育DX の加速化に取り組んで参ります。</p> <p>いただいたご意見は取組を進めるうえで、参考にさせ ていただき「荒尾市DX推進計画」とも連携しながら、計画 の推進に努めて参ります。</p>	参考
16	<p>【子ども科学館について】</p> <p>「子ども科学館」について、単なる映像媒体 のみで、本当に「教育の充実」につながっている のであろうか。一工夫出来ないものか。</p>	<p>子ども科学館に設置している展示物は、共同的な創造 性、共創(きょうそう)をコンセプトにした教育的プロジェクトである「チームラボ★学ぶ！未来の遊園地」における作品(お絵かきタウン等)を導入しており、描いた絵が立体で出現し、街の変化に繋がり、また描いた絵が展開図として出力され、それを組み立てることができるなどの内容となっています。</p>	参考

		<p>これらの内容は、表現力の発揮、多様性の尊重、テクノロジーへの興味、空間認識能力等を育むことが期待できるものです。</p> <p>いただいたご意見については、取組を進めていくうえで参考とさせていただきます。</p>	
17	<p>【今後の取り巻く環境を見据えた取組について】</p> <p>本基本計画は、内向きの構想ばかりで、教育で世界に打って出る人材の卵を育てようとする意図が全く見えないし、記述さえない。少子化現象の続く中、AIを取り入れ省力化し、労働生産性を上げるための教育をする必要があるのではないか。これらのことにどう取り組むのか回答がほしい。</p>	<p>ページ44「基本方針1 夢に向かってチャレンジし、未来を創造する力を育成する」では、子供が自ら学び自ら考える力と、確かな学力を身に付けることができるよう、全ての子供の可能性を引き出す「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実と、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進め、「言語能力」、「情報活用能力」、「問題発見・解決能力」等の育成に取り組んでいくこととしております。P46 ページ記載のデジタルICT教育やプログラミング教育、教科横断的なSTEAM教育等を推進し、学習の充実を図るとともに、英語教育の推進、国際理解教育、キャリア教育の推進等を総合的に推進する中で、夢に向かってチャレンジし、世界で活躍する荒尾の人づくりに繋げて参ります。</p>	参考
18	<p>【荒尾らしさの教育的取組】</p> <p>「荒尾らしさの教育取組み」がない様に見える。これは「よそと違うぞ」と言った事柄が見受けられない。金太郎飴のような施策に見える。大人ではなく、子ども達に荒尾らしさとは何かとの勉強会を設けるとかの機会を与えられないのか。</p>	<p>子どもが荒尾市らしさを学ぶ機会として、本市では、P52の郷土学習の推進、P73 文化交流の推進に取り組んでおります。また、引き続き、本計画を実行する中で、ICTの利活用を含む「荒尾らしい教育の取組み」について研究と実践を続けてまいります。</p>	参考
19	<p>【STEAM教育について】</p> <p>STEAMについても実際の展開が見えない。特にAの関連付けについては全く見えない。また2σや3σの外にいる人材の引き上げ施策や、出来る子にはさらなる高みに向かっての教育手法、その他起業家(創業)に関することの教育、フィンテック(身近なものと言えば、家計簿アプリ、Paypay、株取引)に関する教育等テーマを持った教育が出来ないものであろうか。</p>	<p>STEAM(教科横断的)教育については、P38 基本方針1にICTを活用したSTEAM教育に取り組むこととしております。</p> <p>本市では、令和2年度に児童生徒一人一台にLTE通信が可能なタブレット端末整備を行っています。そして整備と併せて、論理的(プログラミング的)思考力を育成するための教材等も導入しており、ICTをハブとして、さまざまな教科を横断的に学習する機会の提供等に努めています。</p> <p>また、国の提供するSTEAMライブラリー等も活用しながら、その充実を図って行く予定です。</p> <p>いただいたご意見については、STEAM教育を実践するにあたっての、今後の参考とさせていただきます。</p>	参考

20	<p>【基本方針 3】</p> <p>「生涯学習」も計画の対象に入るのか。</p> <p>計画の対象が広くなりすぎている印象なので、他の関連計画と役割分担を図り、「社会教育」の部分に絞られてもよいのではないか。</p>	<p>本計画においては、国や県の計画等を参酌するなどして、本市の教育振興に必要と考えられることから、生涯教育、社会教育等を含む計画としています。</p> <p>いただいたご意見については、他自治体等の事例なども研究しながら、今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p>	参考
21	<p>【計画の体系】</p> <p>各種調査結果や第1期計画の検証結果がどのように反映されているかが分かりにくい。</p> <p>計画の内容というより、この体系に至るまでのロジックを分かりやすく示す必要がある。</p>	<p>各基本方針については、P38～40の通り、第4章の1に定める基本理念の実現に向けて、我が国や本市を取り巻く社会情勢の変化や、教育に関するアンケート調査結果、第1期教育振興基本計画の検証結果及び、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念も踏まえ、記載しているところです。</p> <p>いただいたご意見については、計画の推進のための参考とさせていただきます。</p>	参考
22	<p>【文章作成力と議論力の向上の推進】</p> <p>文章作成力と議論力の向上の推進について、学力の3要素すべての要素の向上に有効であるとされるものの一つに文章作成があげられる。小学生低学年、高学年、中学生と徐々に段階を踏むような形で、体系的に論理的思考力を高めていくような教育に、市として力を入れることが有効ではないか。</p> <p>文章作成を通じて論理的思考力が身につけば、ディベートなどの応用的な教育についても取り入れることができよう。文章作成やディベートについては、学校での教育に加え、各種コンクールへの出展や出場を推奨することで、能力のみならず、興味関心の幅が広がるといったことも期待される。これらの能力は、義務教育に引き続く高等教育への準備のみならず、社会に出ても必要とされる能力である。</p>	<p>ご意見のとおり、本市においても、文章作成力に伴う論理的思考力の育成は非常に重要であると認識しております。小中学校においては、国語科での授業ではもちろんこと、長期休業中等を活用した、各作文コンクール等の勧奨を行っているところです。また、ICTを活用して、論理的思考力(プログラミング的思考力)を育成するため、プログラミング教育の充実を図っております。</p> <p>そして、子供たちの主体的な学びを推進する「荒尾ベシック」の取組を加速化させ、議論力やリーダーシップの育成を図っています。</p> <p>いただいたご意見については、取組を進めていくうえで参考とさせていただきます。</p>	参考
23	<p>【英語を使用する機会の増加】</p> <p>英語を使用する機会の増加(国際理解教育、郷土学習にも関連)について、英語を実際に使用する必要性を認識しないままに漫然と英語教育を続けても、能力の向上は期待できない。子供の英語能力を向上させるためには、実際に英語を使用する体験を通じて英語への興味・関心</p>	<p>ご意見のとおり、英語は小学校中学年から必修となるなど、英語教育の日常化を目指した取組が重要であると認識しています。本市においては、JETプログラムを活用し、ALT5名を配置し、ネイティブスピーカーとして正しい発音方法や文法を伝えるばかりではなく、英語圏の生活文化についても紹介するなど、身近に英語を感じ関心を高める取組を行っているところです。</p>	参考

	<p>を向上させることが重要である。</p> <p>例えば、市内観光資源における英語ガイドを社会体験として実施する、英語圏の学校と提携する(米、英、豪などの英語圏で、共通性のある地域から選定。例: 梨の名産地や、石炭で栄えている町など。米国であればオレゴン州やワシントン州は梨の名産地である。)、英語弁論大会に出場する等、学校教育において段階的に英語活用への参画を推進することで、子供たちの自発的動機による英語能力の向上のきっかけを与えることができるのではないか。</p>	<p>また、すべての学校で英語教育の充実を図るため、英語教育指導力向上のための教職員の研修や、中学生全員を対象とする英語検定助成などの取組を推進いたします。</p> <p>そして、孫文と宮崎滔天の友情の歴史をきっかけに、市内中学校とシンガポールの学校とのオンラインでの交流を進めており、地域アイデンティティの醸成を図りながら、異文化・多文化を尊重する姿勢を育ててまいります。</p> <p>いただいた貴重なご意見については、取組を進めていくうえで参考とさせていただきます。</p>	
24	<p>【屋内プールの新設】</p> <p>屋内プールの新設(学校教育、インクルーシブ教育、生涯学習の学びの場等、多くの施策に関連)について、水泳は、児童の体力づくり、をはじめ、妊産婦、社会人、障がいのある人、高齢者等、幅広い層を対象に様々な効果が望めるスポーツである。しかし荒尾市には、年間を通して使用できる水泳施設が存在せず、夏季の一部期間を除き、荒尾市内では水泳学習の機会を得ることができない。</p> <p>現市民プールの競泳プール部分を改修し、(もしくは移転し)、競泳から生涯スポーツまで幅広く使用できるような、全天候型の室内プールを整備すべきではないだろうか。生涯スポーツと関連があるような、トレーニングジムや体育室を含めて整備することで、荒尾市の健康増進、生涯教育の拠点となるような、市民の生涯にわたる健康の増進に寄与することが期待される。</p> <p>年間を通して使用が可能な室内プールを整備することで、市民の心身の健康の増進を進め、荒尾市の魅力を向上することが期待されるため、様々な機関との連携や国の補助制度などを最大限活用して実現されることを祈念する。</p>	<p>ご意見のとおり、水泳は、幅広い層を対象に教育的効果を含め、様々な効果が望めるスポーツであり、そして、屋内プールは季節や天候に左右されずスポーツの機会を提供できる教育振興に資する施設であると認識しています。</p> <p>現在、市民プールを含む運動公園施設は、体育館や市民プール、陸上競技場など構成施設の多くが昭和30年代に建設され、50年以上経過していることから、老朽化が進行しています。</p> <p>そのため、まずは必要な補修改修等を行い、施設の長寿命化を図っているところです。</p> <p>また、市全体の公共施設についての維持管理等に関する全般的な方針については、「荒尾市公共施設等総合管理計画」を策定しており、スポーツ施設については、集約化や複合化を含めた更新を検討するとしております。</p> <p>いただいたご意見につきましては将来、全体的な配置、改修等を協議していくうえで参考とさせていただきます。</p>	参考
25	<p>【台湾との学生間交流について】</p> <p>台湾との学生間交流(国際交流にも関連)について、荒尾市に生家がある宮崎兄弟は、辛</p>	<p>本市では宮崎兄弟と孫文の交流の歴史を礎に、これまで中国や台湾、シンガポール等の世界各地の孫文記念館との交流を行ってまいりました。近年はシンガポールの</p>	参考

	<p>亥革命で清を打倒した中国国民党の孫文を支援したことで有名である。孫文は、現在の台湾の国父ともされており、台湾側に関心は存在する。中国との政治的関係に留意する必要はあるかとは思うが、同じ民主主義を掲げるアジアの隣人と交流を深めることは、学生の教育にも良い影響を与えることが期待される。日本国内には台湾と交流を深めているような教育機関も多く存在するため、まずは情報を集め、前に進めていただきたい。</p>	<p>孫中山南洋記念館(晩晴園)との施設間交流に取り組み、シンガポール国家遺産局と連携についての合意書を締結しました。その中で、青少年交流や市民交流や文化交流を推進することとしております。新型コロナウイルスの感染状況に鑑みながら、取組を推進して参ります。また、シンガポールは、英語をはじめ公用語が4つあるなど多民族国家であることから、この交流により多文化共生や多様性を尊重する姿勢を育むことができると考えております。</p> <p>いただいた貴重なご意見については、取組を進めていくうえで参考とさせていただきます。</p>	
26	<p>【文化財保護と継承について】</p> <p>文化財保護や、継承の観点からは、荒尾市に熱意を感じない。</p> <p>荒尾市には、東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所(二造)、6世紀後半の市内唯一の装色四山古墳の宝物(金冠、勾玉、剣、刀子、鉄鏃、馬具、土師器、須恵器)、縄文時代の境崎出土の岩偶等があるが、広く知られていない。</p> <p>本基本計画には、二造も四山神社宝物も岩偶の一言も出てこない。教育にとっても郷土を知るチャンスロスとなっていないか。また、市立図書館に郷土資料室を作るといふが、四山神社の宝物等は、図書館の郷土資料室に展示する予定はあるか。</p>	<p>本市の代表的な文化遺産である宮崎兄弟の生家施設や万田坑関連施設は、個別に施設整備しその文化的価値を発信し、後世への継承に努めています。</p> <p>また、新図書館内に整備する郷土資料室には市が所有する遺物等を展示し、みんなの広場(交流スペース)には民俗芸能の衣装を展示予定です。四山神社の宝物等、個人、団体が所有されている遺物等についての展示予定はありませんが、市に関連する文化財について、ICT等の活用を含めて、よりわかりやすく、利用しやすい郷土資料室となるよう整備を進め、文化財の理解促進を図ります。</p>	その他
27	<p>【文化財保護と継承について】</p> <p>道の駅には、資料館や博物館を併設して良いことになっており、九州では約3割の道の駅で資料館や博物館を設置している。南新地に資料館・博物館を作るよう何度も提案した。</p> <p>将来的に、荒尾市として市民が誇れる資料館・博物館等を新たに設立する構想はあるか。</p>	<p>南新地地区については、これまで様々な視点からの分析やパブリックコメントでのご意見も参考にしながら、導入すべき機能や拠点施設等について検討し、「南新地地区ウェルネス拠点基本構想」を策定いたしました。</p> <p>そして、中核施設として「道の駅」、「保健・福祉・子育て支援施設」に関して、それぞれ基本構想及び基本計画の策定を行い、その整備に向けては、両施設を複合化した「荒尾市ウェルネス拠点施設(仮称)」として、民間事業者の資金やノウハウを活用するPFI方式にて実施することとしております。</p> <p>資料館・博物館等については、市公共施設等総合管理計画に沿った総量抑制の考えのもと中期的な財政運営等も念頭におき、新図書館内に郷土史料室を整備するこ</p>	その他

		とを決定し、令和4年4月の開館に向け、整備を進めております。	
28	【教育旅行について】 いかに他府県から学生を受け入れるかの体制作り、何を学んでもらうか整備する必要があるのではないかと。	教育旅行の誘致について、本市においては観光振興における重要な取組であると考えており、第3期荒尾市観光振興計画の中で、SDGsをはじめとする学校教育におけるニーズを踏まえたプログラムの造成等に取り組むこととしています。	その他
29	【人権教育について】 人権と言えば、穢多・非人、部落問題があるが、部落問題がかえって既得権となって存続し続け、未だに解消していないようだ。収束に向けての努力はなされているのだろうか。	部落差別解消に向けては、部落差別解消推進法に基づき、地方公共団体の責務として、部落差別の解消に向けた施策を講じ、人権教育・啓発を進めていく必要があると認識しております。 本計画における人権教育の推進への施策につきましては、P55-(2)人権教育の推進として、主に義務教育期を中心とした施策を記載しています。 人権教育・啓発推進法等に基づく市全体の人権教育・啓発に関する施策につきましては、現在策定中の「荒尾市人権教育・啓発基本計画(素案)」に施策等を記載する予定です。	その他
30	【知育について】 STEAMと同様の教育のやり方に「知育」があるが、知育については言及がない。知育のための遊具などについても触れられていない。南新地に屋内だけでなく、屋外でも知育を実施できる玩具や設備を提案していた。 これらのことに回答をお願いしたい。	南新地地区については、様々な視点からの分析やパブリックコメントでのご意見も参考にしながら、導入すべき機能や拠点施設等について検討し、「南新地地区ウェルネス拠点基本構想」を策定し、「保健・福祉・子育て支援施設」、「道の駅」等の整備を進めているところです。 また、知育活動は、玩具等の利用の他に、普段の暮らしの中での活動(読み聞かせ、折り紙、野菜栽培、親子のコミュニケーションなど)も効果的であることから、まずは熊本「親の学び」プログラムの活用を通じた取組を行っております。	その他
31	【言葉遣いについて】 現在の子ども達は、両親を他人に紹介するのに、私の「おとうさん、おかあさん」と言う人が極めて多くなっている。いつの間に私の「ちち、はは」ですと言わなくなったのだろうか、子どもの言葉遣いについてについて回答願いたい。	本市においても、敬語や言葉遣いについては、相手や周囲の人、その場の状況等に応じて気持ちを表現する言語表現として、重要な役割を持つものと認識しています。 小中学校では、国語科において、学年段階に応じ、尊敬語、謙譲語、丁寧語等を体系的に学ぶため取組を行っています。 また、敬語の習得については、日常での実践的な使用が重要であることから、様々な人間関係や多様なコミュニケーションが体験できる総合的な学習の時間や種々の校内活動の機会等を通して、敬語の実践的な使用につ	その他

		いての学習・指導に努めています。	
32	<p>【荒尾市の教育に関する現状】</p> <p>「万田坑入場者数」「万田炭鉱館利用状況」「文化センター利用状況」「子ども科学館入場者数」が何の目的で記載されているのか、分かりにくいように感じる。丸ごと削除するか、検討されてはいかがか。</p>	<p>「万田坑入場者数」等については、生涯学習、スポーツ活動、文化活動等の現状として、市民の利用状況の変化を見ていくものとして掲載しているものです。また、基本的施策の数値目標としても設定しているものもあることから掲載を行っています。</p>	その他
33	<p>【子供の表記について】</p> <p>「子供」表記は問題ないか。最近では「子ども」が一般的か。</p>	<p>文化審議会国語分科会「新しい「公用文作成の要領」に向けて(報告)」に基づき、公文書で広く表記される「子供」表記を使用しております。</p>	その他